

令和6年2月27日

令和5年度 自己評価結果表

保護者等向け放課後等デイサービス評価表について、前年度と比べると、9項目については「はい」の割合が増えているが、残り9項目については減っている。減っているものについて、それでも「はい」の割合が高いものは5つあり、それ以外の4つについて検討する必要がある。③の設備については段差の高い部分があったり手すりがなかったり、また物が多く整頓されていないようなところが影響していると思われる。段差については対応が難しいが、手すりや整理整頓については対応する。⑥の障害のない子との交流については、現在積極的には行っていないが、公園などで機会があった場合は妨げてはいないことを、会報などで伝えていく。⑩の保護者会についてはここ数年行っていない。以前のよように、開催の要望を聞き、行うかどうか決めたい。⑯非常災害の訓練の実施については、参加していない児童の保護者に対して、会報などで実施を伝えていく必要がある。

事業者向け放課後等デイサービス評価表については、今年度も従業者全員に配布し集計した。昨年と比較すると、「どちらともいえない」がなくなった分、「いいえ」が増えた傾向にある。昨年度より、1項目ずつ、職員ミーティングにて話し合い、どうやったら「はい」になるのかを全員で考えていくこととしたが、なかなか対応方法を具体的に考えることが出来ず、対応が進まなかった面がある。今年度より、優先順位は全員で話し合って決めるが、対応方法については全員で行うのではなく、チームごとに行うこととした。その結果、まず「環境・体制整備」のチームと「適切な支援の提供」のチームに分けることとなった。具体的な対応方法については、日々の職員ミーティングにて、少しずつ進めていく予定である。